

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年6月23日(木) 16時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、  
小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名  
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

資料1 工程洗浄の状況について

資料2 分離精製工場における燃料カスクレーンのワイヤロープ2重化等について

資料3 3号溶融炉のケーシングの強度評価について

資料4 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス  
固化技術開発棟の火災防護対策の取り組み状況について

資料5 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。それでは本日の面談、始めさせていただきます。まず資料の説明に先立ちましてガラス固化の準備状況についてご説明をお願いします。
0:00:12	はい。現状モリカワです。藤植木の準備状況について前回の面談以降を状況をお伝えいたします。
0:00:22	まず溶融炉へのガラスカレットの投入ですけど6月20日月曜日までにですね一応必要な
0:00:34	2バッチ分ですねガラスの金戸通りを完了しております。
0:00:39	引き続きまして明日実施予定の定期事業者検査、台車と結合装置の作動確認に向けた準備作業の方を今継続しているところでございます。
0:00:51	熱上げ開始につきましては、この他、明日行います定期事業者検査ですね、財政結構増車を作動確認、後、
0:01:00	熱上げの準備が整った段階で開始したいというふうに考えておりました準備が整い次第ご連絡したいというふうに考えております。
0:01:08	また並行してですね、追加で国家セルのMS マニピュレーターでスレーブアームトーマスタ分ですね、こちらの方、
0:01:18	少し動作の不具合等が起きておりましたそちらの方の整備、及び交換の方を実習というところでございます。
0:01:28	こちらにつきましても状況については適宜をご連絡させていただきたいというふうに考えております。
0:01:33	その状況の方は以上となります。
0:01:37	原子炉規制庁の加藤です。ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
0:01:44	今日は次回は出てないよ。そうですね。あんないわけですね、もう。
0:01:51	原子炉規制庁の加藤でございます。並行して実施している、マニピュレーター野瀬ダムの等々の整備なんですけれども、こちらは並行してやっていて、ガラス固化の開始のスケジュールには影響しないということでよろしいですか。
0:02:10	はい。別の方に提供しませんけど、それが終わってから運転開始という状況ですのでこちらの整備状況を踏まえた上で、
0:02:21	運転開始時期等々を決定していきたいというふうに考えております。
0:02:26	はいわかりました。ありがとうございます。
0:02:29	これまだ、
0:02:33	ま、
0:02:34	気をつける。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:43	はい。よろしければ、では次資料の1のご説明をお願いします。
0:02:52	はい。それでは資料1ということで2ページ目をご覧ください。埋設の仲村です。先週、百瀬いたしましたけど工程整備の状況等について続報ということで、ご報告させていただきます。
0:03:04	まず概要でございますけれども、6月10日にせん断粉末の装荷を行いまして、溶解開始の確認を行ったところ、その前提条件である気密の確認という行為ができなかったと。
0:03:17	ということで、現場調査の結果を行い、現場調査を行いましてその結果、溶解槽P L U Gの二つあるP L U Gのうちサイド側で確保しきれずに、併行不足で気密確保できなくなっていることを、
0:03:29	現場で確認しました。その対策として、当時の手順を確認したということで、来週ですね、せん断粉末の溶解を改正する予定であるということです。
0:03:40	2ポツ以降に原因と対策を示してございます。
0:03:45	対象につきましては11ということで次のページ、前回御選手もお示しました、対象範囲ということで記載してございますこちらの方を、
0:03:53	ご説明省略いたします。
0:03:55	結果の方ですけども、4行目に書いてございます。溶解槽装荷セール、R1対地における遠隔でのP L U Gのセット時に、添サイド側では、溶解槽バレル開口部の中心位置で確保させると。
0:04:08	P L U G上部にあるカトウ溶媒層と浜谷小熊君数と、加工不足、大体2センチぐらいになりますけども、これが縛りないということで、気密が確保できなくなることを現場で確認しております。
0:04:23	次のページのプロジェクトご説明いたしますと3ページ目をご覧ください。
0:04:28	3ページ目の溶解槽を左側に溶解槽R12というものがございまして。その左側に、上の方ですが主、中に12日、
0:04:36	いうバリウムの上部がありますけどもそのところに、溶解槽P L U Gということ締め上から閉めまして、気密性をとるんですけどもこの左側の12ページというところここを、
0:04:49	このプランがさ、締めり金中、以上です。次のページ4ページ目にその来年度を示してございます。
0:04:57	左側が
0:04:59	溶解槽のプランの全体図になります。
0:05:03	今現状、グラムが真ん中にございまして、溶解槽との気密が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:09	ブランド、ガスケットというところ取るんですけども、これが一番下までおり切って、ルールを階層をと、相当の秘密が取れるということになるんですけども、そのときに、
0:05:21	蓋の部分が、そのはメールがはまってなかったと、ということです。
0:05:26	右側にそれを拡大した図面がございます。
0:05:30	その蓋部分ですけど、二重の水を受けてございましてこれがカチッとはまることによって、一番下までおりて下までおりてそのプラン 32 は、あまりありますプランが一番下まで落ちるといって今回はその
0:05:45	プログラムがその溝にきちんとははまってなかったということです。こちらの方ですけども、目視で
0:05:52	ありながら、
0:05:54	中心位置まで持ってっておられたんですけどもそういう、そのときは、加工しないということがわかっております。ただ、これを
0:06:04	ポイントですね、そういった状態で少し下刈り 2 センチぐらいすると、この蓋が少しずれてカチャッと余ると起こるといってこれを繰り返し確認してございます。
0:06:13	ですね、今回の気密の確保ができなかった理由としては、故障とかそういった問題はなくて
0:06:20	負担がきちんと甘かったと、ということが原因となっております。
0:06:28	本文 2 ページ目をまたささせていただきます、
0:06:32	2 ポツの最後の文章ですけども、対象箇所での故障や低下等の異常がないことを、
0:06:39	確認してございます。
0:06:41	対策としては、先ほど話しましたけども掲載のプランでも、セット時に放出している状態で、一応少しずらしてやることによって、問題なく接近できると。これを我々捜査員が誰が言っても
0:06:54	できるということを確認してございます。
0:06:56	なお、B サイド側ではこういったものではございません。中心位置が少しずれたとしても、きちんと問題なく確保をし機密が確保できることを過去確認しております。こちら既読いうのをば事象ということで考えてございます。
0:07:11	まず 3 ポツの今後の予定ですけども、今回、江藤調査期間 1 週間ほどをとりまして、政府統一評価書の中に少し水が入ってございますので液位とか、或いは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:21	関係の弁等の開閉操作をかなりしておりますので、状態が下変化していることから改めて作業開始の条件確認を行いまして、来週から、せん断粉末の溶解を開始したと。ありがとうございます。
0:07:34	本件につきましては、傷が取れなかったということで
0:07:39	生業事象として社内いただいております。はい。取り扱うこととしております。
0:07:45	実際載せ点検及びその結果については、ご報告させていただきました。以上になります。
0:07:53	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメント等ありましたら、お願いします。
0:08:03	規制庁の加藤ですけれども、ちょっとすいません素朴な疑問というか教えていただきたいんですけれども、今回の事象なんですが、江藤マーク、
0:08:14	K L a b の
0:08:17	うまくクラブの蓋がですねうまくはまっ払っていなかったってことだというふうに認識しているんですけれども、
0:08:25	これって目視で、
0:08:27	わからないものなんですか、何か目視では異常なかったっていうような、ご説明を先週私が受けたような記憶があるので、
0:08:35	その点について確認したいんですけどいかがでしょうか。
0:08:39	はい、江藤五島、セルの中にございまして、中心部にあります。我々この観察の中のカメラを移動させまして P L U G あやしいということで、カメラを近づけまして、
0:08:52	ちょっと横に持ってて断層の長さどのぐらい開いてるかどうかはちょっと見えなかったんですけども、かなり近づきまして、隙間があるということを確認しましてそれを何回か繰り返して、
0:09:03	動作を確認してございます。ちょっと外側では、確認できないものでございます。
0:09:13	規制庁加藤です。すいません先週の説明では P L U G の周りを確認して異常ありませんでしたっていうようなお話だったと記憶してるんですが、
0:09:26	そこからもうちょっとよく見たら、やっぱりずれてたっていうふうには発覚したってことなんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	はい。先週の段階ですと、ちょうど4ページ目の右の参考図の右の部分ですね、下の上の部分で、真ん中にふたを通過する通過します、シャフト部ですね。
0:09:46	こちらにもしかしたら異物が噛み込んでるんじゃないかということで、かなりこの負担の部分は、かなり動いてましたので、見込んだ可能性があって、下までおいてないのではないかと想定でございました。
0:09:58	ただしそのため、何回か繰り返しても、
0:10:03	落ちてこないということで、間違い原因がある、可能性があるということで、一旦P L U Gガスケットを新品と交換しましてそれでも
0:10:12	あったということで、新品と交換しましてそれでもお水が出なかったということで、カメラで上部を再、
0:10:19	その詳細確認結果、
0:10:21	この部分に、この部分に隙間があるということで確認しまして、この調査を確認してございますちょっと先週の段階ですと真ん中の者等があやしいと思ってましたけども、それはなかったということで、今回、
0:10:32	生田の部分をよく詳細に観察しておりまして、その結果となります。
0:10:39	減少規制庁の方です先週の分、先週の断面では着目した部分が違う違って、今回より詳細に確認したらこういうことがあったということで
0:10:52	原因が究明できたというふうには理解します。
0:11:02	それで多分これ感想になってしまうんですけども、
0:11:08	金子、結局
0:11:13	原因いろいろこう究明して、いろいろ考えた結果最終的には、ふたがずれていたっていうそういう結構シンプルな、
0:11:23	原因だったっていうところで、これでちょっと工程が2週間、3週間ですか、遅れるっていうのはちょっと今後、
0:11:34	同じような形で、何か、また工程がずるずる延びないかっていうのが、非常に心配だなというふうな印象を受けましたので、
0:11:43	これから他の装置もいろいろ動かしていくと思うんですけども、こういったことっていうのは過去の運転経験とかそういったところで、
0:11:54	そのわかってるような事象とか、
0:11:57	もう経験的にこう、
0:12:00	何かを知見としてあるような事象というのはあると思うので、その辺をしっかりと検討して、府議会十分やっていただいていると思うんですけどもしっかりと検討していただいて、今後工程にあまり支援がないようにしていただければなというふうに思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:17	はい。私から以上です。
0:12:19	うん。
0:12:22	はい。了解いたしました。おっしゃる通りでございます。我々も過去にこういったものを経験しておりまして今回反映できなくて時間を、調査に時間を要したということでちょっと反省してございます。
0:12:34	五味のようなことがないように、少なくともこの事象については過去にもあるという話を聞きますんで、
0:12:41	うん。データでの事象ですんで、そこに持ってくるように、
0:12:45	したいと思っております。
0:12:51	そうですけども、安全上問題ないし、逐一なんかいうのも、小中とみたく、
0:13:02	ちょっといやらしいなと思うんだけども、やっぱりちょっと郡ラーン町やっぱビットを現場閉めないで、
0:13:13	もう俺そこに尽きると思ってんだけども、
0:13:19	はい下向クリタです現場も確認しましたし、実現象の観点でもですね見える化という下部文書化というかそういった
0:13:32	人材育成の観点からも、
0:13:36	経験してない部分をいかにベテランが補うかっていう観点でもですね、防止対策のところ、そういったその指示文書の中にいかにその
0:13:49	テクニク的な
0:13:55	他に詳細に共有できるかというところに尽きるかと思しますので、事前にそういったものが共有できるように、徹底さしていきたいと思いません。
0:14:06	正田谷津細田ですけど、全く疑いを今持っていないので、引き続きやっぱり
0:14:17	分団長以下、
0:14:19	クリタクんだです、やっぱりビシッと
0:14:24	クロージャーしてもらわないと、やっぱ次の工程行けないんで、もう本当よろしく願います本当に。
0:14:30	もうこれしかも頼むしかないんで僕らできないんで変わると運転できないですから、軍課長願いますよ本当に。
0:14:39	はい、はいわかりました。
0:14:46	じゃあ、よろしければ、編集規制庁の加藤です。それでは次、資料の2のご説明をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:59	はい。引き続き、前処理施設課の仲間がご説明いたします資料2の方ですけども、分離精製工場における燃料+クレーンのワイヤーロープ20%ということで、これまで主に燃料の搬送に関しては事業者レベルの変更施設について中心にご説明して参りました。
0:15:15	今回ワイヤーロープの二重化切郡レベルの申請ということで、誤信申請する予定でございます。その内容につきましてはワイヤーロープの二重化については何度かご説明しておりますけども、
0:15:26	本件につきましてはそれ以外にも、苦戦庶務の更新、或いは磯辺大木吊具の製作といったものを、
0:15:34	内容が含まれてございますので、そちらの概要についてご説明いたします。
0:15:39	概要の方は今お話しした通りになります。パスの標準燃料の搬送方法等をこれまで
0:15:47	面談の中でご説明しております。設備対策の内容としましては、両括弧一番、燃料は機のワイヤーロープの二重化、こちらの方、これまでご説明した内容と同じでございます。
0:15:59	両括弧2番、エクステンションアームの更新ということで、燃料かつクレーンワイヤーロープの二重化によって下期予定が60センチほど短くなります。
0:16:09	このため、燃料かつクレーンの汚染を防止する、エクステンションARMについて、材料とか形状を変えずに、60センチ短くしたものを新たに製作いたします。
0:16:19	それと、先の話、お話ししました輸送容器、DNA型のツリーをスリングを新たに製作いたします。こちらの方を設工認で申請したいと考えてございます。
0:16:30	具体的には、ページが飛びまして7ページ目に、
0:16:34	これまでご説明しました、
0:16:37	標準燃料の話のフローがございます。
0:16:41	そん工事の対象設備ということで、矢印を持ってきておりますけども、左の上の方ですね、燃料活動クレーンで新しい輸送容器をする時の、
0:16:52	物理になりますこちらの方を新たに製作しますんでこれを設備で申請いたします。
0:16:57	また、エクステンションARMと言われるのが右側でございます。トイレの中でハンドリングするつり具なんですけども、これは
0:17:08	燃料枯渴クレーンの吊具を直接プールの中に入れてないように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:13	長い棒をつけましてその中で、
0:17:17	いいです。
0:17:18	日曜日とかのハンドリングを行うということで、備船募集の長いものになります。それと、最初にございました、ワイヤーロープの二重化ということで、ちょうど矢印で示したものでございます。こちらの3件について、
0:17:30	設工認の申請を行うものでございます。
0:17:38	それで5ページの本文5ページ目に戻っていただきまして、
0:17:41	4ポツ、安全機能の影響ということで、こちらの方OIRが一本破断した場合でも、
0:17:47	4ページ、6ページ目になりますけれどももう一本のバイアルで、次を保持できる機能を追加するものであって、クレーンの能力。
0:17:54	明確化中や巻き上げ速度方向、走行速度及び搬送中の使用済み燃料等の損傷防止機能、フックの外れ止めとか巻防止装置とかブレーキ装置に変更ございません。また、
0:18:06	ワイヤーロープ二重化に伴って下期予定が20メートルから19.4メートルに短くなるものの、エキセ庶務を短尺することで、次の搬送に影響はないということでございます。
0:18:16	次に建設試験、試験検査をお示しでございます。それぞれ123ということで、ワイヤーロープ二重化については、材料仕様外観検査つぼ検査等確認検査等を行います。
0:18:27	製作物の自転車につきましては材料が如何せん防火上試験実際の天津移入を重さを合わすと、森尾をつなげて荷重試験を行います。
0:18:39	両括弧3本移送容器用の吊具の製作ということで、こちらも同様でございます。また、輸送容器の次の方パツと音を抑える事業、いう構造になってますんで
0:18:50	安く抑える時のトリア取り扱い性の検査ということで、吊りの開閉をジャッキで作動させて危ない、開閉がスムーズに行われることを確認いたします。
0:19:01	最後に6ポツ、本工事の本工事における本庄の措置としては、保安規定に従うとともに労働安全衛生法に従って作業者の労働災害を防止します。
0:19:10	また重量物については、電動支援ブロック等を取り扱って安全に行います。また、本工事の工事に係る作業の開始メート終了後においては、周

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	辺設備等に変更がないことを確認して、異常の早期発見に努めるということで、安全対策を行います。
0:19:27	下の方に表示ということで先ほど文章にしましたけどワイヤーロープ二重化前後の仕様の変更を、変更の或いはなしだということで表にさせていただきます。巻き上げ速度等の変更ございません。ワイヤーロープの使用が
0:19:41	油の方になってそれが2、2本になると。
0:19:43	その代わりイコライザーという部分に若干あります変更がございますので若干予定がある金でございますその分は、育成庶務で達成させるということになります。
0:19:56	続いて、資料の方ですけども8ページ目はこれまで御説明岩谷の理事会についてご説明した内容と同じでございます。最後に9ページ目の方ですけども、1000参考として、
0:20:06	今回6月30日以後申請をいたします事業者レベルということで別冊1-1、使用済みの半数についてということと、あと今回、本日も説明しました設問レベルの
0:20:19	変更申請ワイヤーロープの二重化等ということで、別冊2042という形で
0:20:25	今月末にですね、ご申請、使用済みの廃止に係る変更申請ということで、申請したいと思っております。
0:20:33	説明の方になります以上になります。
0:20:40	どうぞ。はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして原子力規制庁からは、質問コメントありましたらお願いします。
0:20:50	大丈夫。
0:20:53	市長ウエノです6ページの表1に、定格荷重ということで110トンになっが示されてるんですけど、
0:21:03	これ、ワイヤーが1本切れたときには、
0:21:08	当該
0:21:09	どれだけ釣れる、110t釣れるってということでよろしいですかね。
0:21:14	はい。もちろん、これについては安全係数というものを、
0:21:19	ノーです。もう日本ですと7倍近く、計画の5倍以上の計画に対して、実際は7倍以上の荷重を受けとめるところでございます。タイヤが1本切れたとしても、
0:21:30	低角について2倍以上の荷重を受けることができることを確認してございます。はいわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:44	ネットワーク。
0:21:47	この設計自体はいいんだろう、これで、
0:21:52	静的多重化、
0:21:57	いいよね。はい。
0:21:59	と思います。
0:22:03	だから、うん。糸賀。
0:22:07	うん。はいわかりました。
0:22:09	原子炉規制庁の加藤です。これ、ちなみに申請はいつごろ予定していますか。
0:22:15	はい。登録、今月末ですね6月30日を予定してございます。その他、手続きの方進めてございます。
0:22:25	一応掲示のカトウで承知いたしました。
0:22:29	地元との調整もそうです。
0:22:32	いらぬ話。
0:22:33	ちょっとすいませんそうですね施設通り事業所レベルとヘレベルで同時に一緒に出す予定です。
0:22:41	承知しました。
0:22:45	他よろしければ、次、資料の3のご説明をお願いします。
0:22:55	資料の30ページより、土佐磯推進室田口の方がご説明させていただきます。本件につきましては、4月の27の面談におきまして、
0:23:08	部品交換等の考え方についてご説明させていただいた際に、今後、自主的に交換更新統ある範囲でやれる方がいいというようなことで、
0:23:21	その必要性を訴えるするボタン操作卓笹米、
0:23:27	これさ、
0:23:28	ちょっとタイミング見てヒアリングとかやっていかないから、
0:23:33	まず構わないですので、そこで話し合われた方々、湯浅。
0:23:40	ガラス熔融老はさ、多分上手く転んでいかないと。
0:23:47	チノー幹部連中も話聞かないと思ったらねこれ。だから、実績をこう出したところ
0:23:57	うまくこの話をポツとこう浮上させるっていう感じの方がいいと思うんですよ。
0:24:03	とりあえず、
0:24:05	このパイプであれば、ということで、ちょっとこれはこれで眺めておきますよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:15	うちで、今、説明必要。
0:24:19	研修期間ナカノです時期はちょっとまた考え直したいと思います。とりあえず、
0:24:27	大槻に与えない東京の
0:24:39	後でご連絡します。
0:24:43	はい。よろしく申し上げます。
0:24:49	今のところ三行ぐらい9年ぐらい。
0:24:57	はい。衛藤。
0:24:59	そうしましょうじゃ、資料の説明をお願いします。
0:25:07	はい。ガラス部の小高でございます。資料、資料3ということで16ページ目になりますが、先週面談にて3号溶融炉のケーシングの強度評価ということで、
0:25:20	ケーシングの溶接により生じた変形。これについてはいろいろ溶融炉の機能の影響はないということで、ご説明させていただきまして、その際ですのご質問で、
0:25:33	東予円の蓋要は点板はちゃんとつくのかというようなご質問を受けて、その際一応ちゃんとつきます、施工上問題ございませんという旨はご説明させていただいて、
0:25:47	改めましてそ、その旨資料の方ですね追記修正させていただきましたので、ご説明させていただきます。具体的には11ページ名のですね、
0:26:00	4項の機能への影響、機能等への影響についてちょっと項目立てを整理いたしまして、(2)、施工上の影響ということで記載を追記させていただいております。
0:26:13	記載内容といたしましてはケーシング状面に溶接で取りつける天体については、すでに製作を完了しており、掲載ケーシングの天板取付部及び弁板の
0:26:25	寸法のそれぞれの実測値より、ケーシングと天下の中心位置を合わせた状態でケーシングと転移鷹野を溶接の拡張を確保でき、
0:26:36	決定通りですね、 $\theta$ を取り付けられるということを確認しております。これにより今後ですね、実施する容量全体の組み立て及び全体の負担金、
0:26:48	はい液位とが原因を供給する原料供給ノズル等の負担品ですが、こちらの取り付けには影響は生じないとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:58	またですねご家庭内に要領本体押すセールスする単位の溶融炉の架台との取り合い部の寸法に関しましては公差の範囲内にあり、いろいろ大洲続けに問題ないといった記載を追記させていただきました。
0:27:14	補足名は以上でございます。
0:27:27	はい。ご説明ありがとうございました。
0:27:29	はい。迫田です。ありがとうございます。大変恐縮ではございますが今回のケーシングの変形につきましてはこれまで面談にて、いろいろの機能
0:27:43	への影響はないということや、あと外形寸法がですね、最終的に口座に収まるようその利分の高さを調整するといったご説明をさせていただいております、
0:27:54	当方としては現行認可いただいている設計及び工事の計画の範囲対応で出ているものと、
0:28:05	認識しております、差し支えなければですね、このままいろいろの政策をですね、進めさせていただいてですね、完成を目指していきたいと考えております。
0:28:24	原子炉規制庁の加藤でございます。当部門としては特に異論ありません。
0:28:32	ありがとうございます。製作状況に関しましては今後ものにご報告させていただきますので、よろしく願いいたします。
0:28:39	いや、30、はい。ありがとうございます。
0:28:43	よろしく。よろしいでしょうか。
0:28:46	はい。よろしければ次の資料のご説明をお願いします。
0:28:54	原子力機構の中崎です。衛藤笠井の件についてご報告いたします。
0:29:01	笠伊井の話で具体的に活用した対策のですね取り組み状況ということで、特にソフトウ対策についてご報告させていただきたいというふうに思ってます。
0:29:13	火災につきましては昨年度までの事業指定レベル、あと施工認レベルの申請の方を認可いただきまして、その申請の中でですね、ソフト対策としてやっていくことというお約束してるがございます。
0:29:27	具体的には代替策の訓練ですとかあとは、火災防護計画の作成、そういったところを、がお約束した内容ですけどもそれについてその後ですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:37	進めまして、そういった対策にある程度見込みが立ったということで今回このタイミングで報告の方させていただいているということになります。
0:29:49	まず資料の方ですけども 23 ページ目からになります。
0:29:54	火災防護対策の取り組み状況についてということで、はじめにのところですが、先ほどお話ししましたようにハード T V F の内部火災対策につきましては昨年の 6 月に申請して 10 月に認可をいただいているといったところでございます。
0:30:10	申請の中で基本方針を示しております、
0:30:16	基本方針としましては火災分を審査基準に基づいて火災の発生防止、感知及び消火あと火災の影響軽減について、それぞれ考慮した対策を行っていくということをお示してございます。
0:30:29	その中で、火災の影響軽減につきましては系統分離がですね、物理的に困難な箇所があるということでそういったところにつきましては、保守管理影響がない範囲で、対策を実施していくという、いうこと。
0:30:43	その上でですね、万一、安全機能を有する機器ケーブル等が損傷した場合におきましては蒸発乾固の発生までの時間誘導、これらは 77 時間、T V F で 56 時間、
0:30:56	ですけどもその誘導の中でですね、代替策を行って保安水準を確保していくということを示してございます。
0:31:05	具体的には真ん中あたりに下、下線で示してございますけども、一つが消火用資機材、これは消火器ですとか防火服そういったものを資材の充実。
0:31:16	あとはそういった時代を使った訓練の拡充を拡充を図ることで初期消火の確実性を高めていくということ。
0:31:23	あともう一つは下の下線になりますけども、予備電源ケーブルを使ったですね代替策、行って万一ですね、損傷した場合には機能の復旧を図っていくための手順、
0:31:38	あとは資機材を整備していくということを示してございます。
0:31:42	そしてですねそれらを含めたソフト対応ということになりますけどもそういったものについては、サイボー計画という形でですね、定めて運用していくということを基本方針として示していたと、いうことになります。
0:31:57	こういった基本方針に基づきまして、ハードソフトの両面からですね、取り組みを進めてきたといった状況でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:06	次のページいただきいただきまして 24 ページ目でございますが、
0:32:10	2 ポツ目のハード対策の検討状況ということで、これは施工人で
0:32:16	お示した内容ということで火災感知設備の追加設置であるとかあとパッケージ型の自動消火設備、あとケーブルのラッピングとかそういった話でございますけども、
0:32:26	そういったものについては現在ですね工事の実施に向けて準備を進めているといったところでございます。
0:32:33	次の 3 ポツのソフト対策の検討状況でございますが、(1) でまず代替策ということで、これ先ほどご説明しました指、万一ですね安全機能を有するケーブルが、
0:32:44	損傷した場合に予備ケーブルを用いてですね、行う代替策ということになります。
0:32:50	この代替策につきましては手順具体化してですね、
0:32:56	火災発生時のその初期消火も含めて訓練の方、行いまして、有効性を確認してきたというところでございます。
0:33:03	訓練につきましては、要素訓練と、あと総合訓練、総合訓練という形で分けまして、要素訓練の方ではですね、真ん中あたりに①から④、箇条書きで示してございますけども、
0:33:17	こういった要素に区切ってですね、それぞれの要素をにおきまして対応手順ですとか、あと資機材の使用方法、あと対応時、時間、
0:33:28	そういったところについて確認を行ってきたというところでございます。
0:33:32	あと総合訓練におきましてはこういった要素つなげてですね一連の動作として、火災発生したといったところのし、
0:33:43	一連のシナリオに沿ってですね、確認してきたということでございます。
0:33:50	今年の結果の概要については後程ご説明いたします。
0:33:54	結果としましては、TVF それぞれについてですね、こういった代替策の訓練を行いまして、いずれもですね、排出申請の中で示した
0:34:05	目標時間がございましたのでそういった目標時間の中で対応可能ということで現場における一覧動作がですね、有効に機能するということを確認できております。
0:34:17	ただその訓練の中で反省意見がございましたので、そういった反省意見を踏まえてですね手順書を修正して、申請したものを回分計画に基づいてですね制定の方を行っているということになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:31	最後の段落ですけども今後ですね継続的にこういった訓練、行っていきまして開発部会能力の向上と習熟を図っていくと、そういった考えでございます。
0:34:45	次のページ目、次のページの 25 ページ目でございますが、(2) で火災防護計画というものでございます。
0:34:53	火災防護計画につきましては、これ先行施設で作ってる例がございましたのでその事例を参考にしながらですね検討を進めてきたところでございます。
0:35:06	現在制定の手続き規則の制定の手続きを行っているところでございまして 6 月中には、
0:35:15	規制の下部規定センター規則として制定する予定でございます。
0:35:21	火災防護計画の中身につきましては、これは T V F 含めてですね、火災処理施設の全体を対象としたものということで、内容としましては、真ん中あたりに書いてございますけれども、
0:35:36	火災防護に係る組織、あとは火災予防、消火活動、
0:35:40	資機材の配備管理。
0:35:43	あとは内部火災防護対策後壁火災防護対策として防火体の管理、あとは教育訓練ですねそういった内容を体系的に定めたもので、
0:35:53	ということで制定の方を行う予定でございます。
0:35:58	あとは、火災防護計画の中にですね、先ほどご説明しました予備ケーブルを用いて代替策であるとか、そういったものの手順についてもですね整備すると。
0:36:08	こういうことをですね火災防護計画の方には定めているということになります。
0:36:14	衛藤。例えば計画、6 月中にですね初版を制定しまして、
0:36:20	それをですね、定期的な訓練ですとかあとは安全対策工事の進捗、進捗、反映しながらですね継続的に改善を行っていくということを考えております。
0:36:33	次のページいつていただきまして 26 ページ目ですが、26 ページ目は、今ご説明しましたような、昨年の 6 月申請からのですね流れをスケジュールで示したものでございます。
0:36:47	27 ページ目でございますが、ここからのアウト T V F の課題対策に係る訓練結果の概要ということでございます。
0:36:56	1. の概要でございますが訓練としましては、初期消火の対応の訓練、あとは消火後にですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:06	給電系統が損傷したということを想定して代替策をによる対応の訓練ということで行ってございます。
0:37:15	2 ポツ目の訓練内容でございますが、ここは先ほど申しましたように各要素に区切ってですね、①が発生、火災の発生場所の特定、②が職種活動の実施、③が、
0:37:27	予備ケーブルの大洲機材の準備、
0:37:30	④は予備ケーブルの敷設ということで要するに区切ってですね、
0:37:37	確認事項を設けて混乱を行って行ったということでございます。
0:37:42	次のページいただいていただきまして 34 ページ目ですが、
0:37:46	囲んで総合訓練ということで総合訓練は一連の動作を確認するというところで先ほどの様子をつなげてですね、
0:37:57	関係部署で使うと、自衛消防班がおりますのでそういった自衛消防班との協力体制についても確認してきたということになります。
0:38:05	(3) の想定でございますが、訓練での応訴ん想定ということになりますが、下の方に表が示してございます、T V F とはにつきまして、
0:38:18	火災想定する区画としては制御室からですね、
0:38:23	時間を要する区画として管理区域内のアンバー区域を設定してございます。
0:38:29	あと発災時刻としては対応曜日が少ない、夜間、
0:38:33	想定する状況としましては
0:38:37	全家庭を内包してる機器がございますのでそういった機器からの漏えい漏えい油に引火して火災が起こるとそういった状況を想定してございます。
0:38:46	あとは被害としましては給電ケーブルの機能増資と、そういったものを想定している。
0:38:53	あと、管理区域内ということになりますので子育て物によるですね汚染の可能性も考慮しまして訓練の方を行っているということとところでございます。
0:39:03	テーデーエフともにですねそういった内容で想定してですね、訓練を行っているということでございます。
0:39:12	29 ページ目でございますが、確認、(4) の確認事項ということでこれは、
0:39:20	30 ページ目に表でまとめてございます。
0:39:25	表 1、今年度の確認事項ということで、要素ごとにですね、訓練項目を設定しまして、今年項目に対して確認事項というものを設定してその

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:39	確認事項に対して訓練の中で確認してきたというところでございます。
0:39:45	あと 31 ページ目でございますけども、今回火災対策としてですね初期消火の確実性を高めるということから、紹介の資機材として幾つか新たにですね配備のほうを行っております。
0:39:59	例えば表 2 の一番上の報告ということでこれ運転員のみを身を守るという観点で防火服、あとは防火手袋ヘルメット、そういったものでございます。
0:40:12	あと、その次は消火器ということで、すでに消火器消防法に基づいて配備されておりますけども、追加でですね、消火器を配備し、しているということになります。
0:40:25	種類も幾つかございまして、粉末用、あとは強化駅、これ校章ですね放射距離が長いものでありますがそういったものをあと 2、3 ヶ月消火器、これ考え方対応のものですけども、そういったものを追加配備しているということです。
0:40:41	あとその下が可搬型の排煙機ですとか総務部のこれ馬市ですね煙が充満するような状況になった場合にはこういった機器を使ってですね、
0:40:51	ひも等を
0:40:54	明らかにして対応を行うということでございます。
0:40:57	一番最後、空気ということでこれ双方を固定処分が持っているようなものでございます。空気ボンベ使って、
0:41:08	いうものでございます。こういったものもは P D F が入りだと、こういうことになります。
0:41:15	次の 32 ページ目でございますけども、ここからが訓練の結果ということになります。概要を示してございます写真 2 でちょっと表の方に落とし込んでございます。
0:41:27	32 ページ目の表 3、2 分の 1 でございますが、これも各要素ごとにですね、訓練結果を示してございます。
0:41:39	まず 1 番目が火災警報時の火災警報吹鳴時の対応ということで、基本的には制御室に受信機がございますので、その受信機を確認して速やかに現場に急行するというところでございます。
0:41:54	旧校舎がその下の初期消火の対応ということで、今回新たに配備しております防火服であるとか消火器こういったものはアクセスルート上に配備してございますので、そういったものを装備してですね、
0:42:07	初期消火を行うということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:10	今回の訓練で大体 30 分以内で対応可能だということを確認できております。
0:42:16	その下消防班の協力体制ということで、運転員の初期消火とは別にですね、中小防犯も動き出しますので 10 消防班の方の対応についても確認しているということでございます。
0:42:30	右側の方に消防車が注射している写真がございます。J 消防班が持っている消防車ということになります。
0:42:39	藤消防班がですね化学消火用の消火用の薬剤とかそういった装備も持っておりますので、今回漏えい油の火災を想定してございますのでそういった麻生部品についてもですね使用できるような、
0:42:56	ことを確認しているということでございます。
0:42:59	あと一番性火災現場の状況確認ということで、管理区域内での汚染の花発生の可能性考慮しまして、これ放管員ということになりますが、タイベック鈴木で現場での尖閣に、伊勢美麻で行う。
0:43:15	そういったことを、対応について確認してございます。
0:43:19	あと、次のページ、11 ページ目でございますが 11 ページ目が、これは
0:43:25	予備ケーブルの敷設対応訓練ということになります。
0:43:31	衛藤及び K ブルーにつきましてはまず予備ケーブル自体ドラムローラーに巻いてる状態でございますのでドラムローラーの運搬、あとは、
0:43:42	アースそうですねすべてドラムの運搬、あとそのドラムをですねドラムローラーというものに乗せてですね、回転させながらケーブルを引き出す必要がございますので、そういったドラムローラーの組み立て、
0:43:55	そういったところを実動で訓練を行って確認してございます。
0:44:00	その下ですけれども予備ケーブルの敷設ですね、今ご説明したような内容で実際予備ケーブルを引き出してですね、ケーブルのルート応答について確認している。
0:44:14	今回の今年度はそういった 20、20 分ぐらいでの対応が可能だということを確認してございます。
0:44:21	目標としましては申請書等ではタイムチャートを示しておりまして大体 2 時間ぐらいを目標にしておりましたので、十分余裕を持ってですね、対応できるということを確認できています。
0:44:36	と、その次のページ 32 ページ目、33 ページ目でございますが、これは右折についてもですね同様の訓練を行っておりまして、同じような結果、
0:44:48	アアアをですね、整理して、まとめたものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:54	次の 36 ページ目でございますが、原発の反省意見ということで、
0:45:00	金連合にですね、訓練参加者等モニターも配備しておりまして、配置していただいたので反省会を行いまして、反省意見を注視しているということでございます。
0:45:11	そういったご意見を踏まえてですね例えば作業性これ時間短縮の観点の作業性というものであるとかあと安全性の観点からですね手順書をですとか資機材の見直しを行うと。
0:45:24	ということで、対応の方を行っております。具体的な反省会については 15、40、
0:45:30	3 ページ目、38 ページ目。
0:45:33	に記載してございます。
0:45:37	38 ページ目に戻っていただきまして、個別の評価ということで、今回、火災対策に係る訓練を行いまして
0:45:47	着色については、これは火災警報吹鳴から約 10 分以内で対応可能であるといったところを確認できております。
0:45:56	あと予備ケーブルの敷設対応につきましては、これも先ほど言いましたように、約 20 分程度で可能ということで目標とちゃん理事会の作業を完了できるという見込みであるとか、確認できております。
0:46:08	いずれにしましてもその時間誘導を How で 77 時間、PDF で 56 時間、スタッフスリル議案といった中で対応はできるという確認できてございます。
0:46:23	江藤。はい。ということでございます最後のポツでございますけども今回その訓練へ行って手順書を制定してございますので、今後ですね、継続的に教育訓練を実施している。
0:46:37	いくということを考えてございますそういった内容につきましては、
0:46:42	保全計画の方にも定めているということということでございます。
0:46:47	ちょっと駆け足になりますけどもすいません今回の取り組み状況ということでご説明いたしました。以上です。
0:46:55	院長規制庁加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして規制庁からコメント等ありましたらお願いします。
0:47:03	舗装ですけど、
0:47:05	こういうことないよ、パーフェクトたと。
0:47:10	これ一、この資料で、今回の会合を全部、この資料出していいよ、もうこれを出して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:20	もう前向きに取り組んでいるという証拠だから、もうこれはもう出そう。
0:47:25	この舞子。
0:47:27	写真もいいようにとれてるこれ、もう本当に写真いい写真ですよこれ。
0:47:33	モード僕らね今ヒアリングしてて、僕ら自身が恥ずかしくなって俺ら訓練やってもここまで反省してねえなとか。
0:47:40	ちょっと思っちゃったりなんかしたんだけど、
0:47:42	もうこれパーフェクトだよ、パーフェクト、もうこのまま行こう。
0:47:48	何かありますか、もうない。もうもうね、ぎゃふんと逆です。うち逆。
0:47:53	ぎゃふんってなりました。やられました。参りました。以上です。
0:47:59	ありがとうございます。
0:48:19	いや本当は言ったよ。ちょっと待ってよ。
0:48:23	参りました。
0:48:25	参りました。
0:48:27	あとスケジュールから、
0:48:32	はい。それでは配送推進室長から経理部の方を説明させていただきます。
0:48:38	本日6月21ということで工程洗浄の準備状況じゃなくて実施状況それからS F算出に向けた別購入案件からガラス固化処理の進捗状況、佐藤安全対策ということで火災で、
0:48:53	施策の訓練の報告の方させていただきます。
0:48:56	次回につきましては、医師分けさせていただきます、7月の
0:49:02	6日に予定できればと考えております。
0:49:06	こちらにつきましてはS F搬出に向けた取り組み、それから工程洗浄を上げるスポーク進捗状況については適宜ご報告の方させていただければと思っております。
0:49:19	7月のヒアリングの予定の方も
0:49:22	いわゆる入れさせていただきますが概ね2週2円程度の
0:49:27	形で詰めさせていただきますと思っております。保全の方針につきましては先ほどございました通り、今後説明スケジュールにつきましては改めてご相談させていただければと思っております。
0:49:39	簡単ですが説明は以上です。
0:49:46	7月にやろう。
0:49:48	はい。スケジュールありがとうございました。連

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:52	次回の面談なんですけれども6日ということで承知いたしました。今んとこ2時から、
0:50:00	西京銀行でできると思いますので、それ、2時からという形でちょっと調整させていただければと思います。
0:50:08	介護度のタイミングで入れ金ナカノさんで、
0:50:17	はいそうですね
0:50:22	T V F うまく行って、
0:50:24	数があつてと。
0:50:27	最初の、
0:50:32	最初のM i l l s t o n e 低下して、10ぐらい行って、その報告、
0:50:39	どっか、例えば例えばそういうタイミングなのかなっていう気はしておりますが。うん。わかりました。まずちょっと、当然会合の可否はうちで決めますけども、
0:50:52	ちょっと推進室でもちょっと検討していただいて、
0:50:55	ご希望を言っていただければ、
0:50:57	ちょっとうちもそれを検討内容も踏まえて、ご希望も踏まえて検討します。
0:51:04	はい。中野局長しました。ちょっと、今後の御説明のプランを少し、
0:51:09	検討していきたいと思います。
0:51:10	はい。
0:51:14	これ。
0:51:16	はい。こちらからは以上ですけれども、原子力規制庁、矢作研修聞こうか何かありますでしょうか。
0:51:26	はい。本日予定していた案件は以上になります。政府搬出関係中心として申請につきましては計画部6月末を目指して申請の準備を進めておりますので、よろしく願いいたします。以上です。
0:51:42	議長規制庁加藤ですよろしく願いいたします。じゃあ、本日の面談これで終了にしたいと思いますどうもありがとうございました。どうもありがとうございました。ありがとうございました。
0:51:51	議長。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。